



子育てに大切な



令和6年11月15日発行の「まなびのまち」No.56では、地域全体で子どもを育くむ取り組みを紹介しました。地域社会は、親子や夫婦、単身世帯など様々なかたちの家庭が集まり形成されています。

家庭とは、子どもが最初に出会う社会で、学びの出発点です。安らぎのある楽しい場所であることが望ましいです。子どもたちの健やかな成長を願うことは、社会全体の願いです。今一度、皆さんの生活を振り返り、家庭教育について考えてみませんか。

■家庭教育とは

家庭では、保護者が子どもの世話をし、生活する上でのさまざまなルールを子どもに教えます。これを「家庭教育」といいます。

家庭教育は全ての教育の出発点です。子どもたちは、幼児期からの家族とのふれあいを通じ、まずは家庭で基本的な生活習慣や人に対する信頼感などを学んでいきます。

地域社会で生活するうえで、他人に対する思いやりや善悪の判断などの社会的なマナーを身につけることは重要です。家庭教育はさまざまな学びのベースとなる重要な役割を担っています。

■変化する家庭のかたち

かつての日本の社会では、子どもたちは家庭や地域の生活、子どもたち自身の社会集団や遊びの中で、

必要な規範や行動能力を身につけてきました。子どもは社会や地域全体で育てるものという意識が、存在していたからです。

現代は、個々の家庭の中で、親が子どもを育てるスタイルへ変化しています。今では子育て世代のほとんどの家庭が共働きであり、核家族化も進んでいます。親は仕事や家事に追われ、子どもとのふれあいや、周囲とのコミュニケーション不足に陥る傾向にあります。

このような状況から、保護者が家庭教育の大切さを知る機会をつくり、家庭の教育力を向上させる必要性が高まっています。

■家庭教育支援の取り組み

市教育委員会では、家庭の教育力の向上を目的として、市内小中学校や子育て支援担当部局と連携し、家庭教育支援を行っています。

家庭教育支援基盤形成事業では、子どもの成長段階により3つの時期に分け「育児講座」「学童期子育て講座」「思春期子育て講座」を開催。専門家を招いた講演や親子で体験する講座を行い、保護者が子育ての正しい知識や悩みを解決するヒントを学ぶ機会を提供しています。

それぞれの講座は、学校の参観日やPTA研修会などの機会に合わせて開催。学校からのおたよりでお知らせしていますので、ぜひ参加ください。

■家庭教育支援基盤形成事業を紹介します！

育児講座

育児講座は、幼児期の親子を対象としています。親子で一緒に運動や読み聞かせなどを楽しみながら、子どもの心と体の成長にとって大切なことを学びます。



楽しく体操に取り組む親子

浅野さんは「子どもの頃に家族と過ごす楽しい体験は、かけがえのない一生の宝物になり優しく強い心を育ててくれます。このようなイベントや体操で、家族と一緒に楽しめる時間や機会を増やしてください」とメッセージを送りました。

親子たいそう教室

10月26日、子育て支援センターで親子たいそう教室を開催しました。公益社団法人日本3B体操協会、公認指導者の浅野裕子さんが講師を担当。3B体操は、ボール・ベル・ベルターという道具を使って行う運動で、運動が苦手な人でも取り組むことができ、無理なく体を鍛えることができます。参加した親子は、一緒に楽しく体操に取り組みながら、子どもの健やかな成長を促す運動の方法やふれあいの大切さを学びました。

参加した保護者からは「子どもがとても楽しそうでした。久しぶりに体を動かすことができ、リフレッシュになりました」との感想が寄せられました。

学童期子育て講座

学童期子育て講座は、小学生の保護者が対象です。食育や生活習慣、子どもの成長発達、情報メディアの正しい使い方など小学生の生活のなかで大切なことについて学びます。



＜令和6年度開催テーマ＞

- 子どもの健康、感染症、アレルギーについて
- 感情のコントロールと親子の有効なコミュニケーション
- 情報メディアとの上手な付き合い方
- 入学前に身につけたい生活習慣
- おうちで性教育
- 親子で運動
- 健康生活は食事から～塩かげんもあまちゃん～

親子のコミュニケーション ～未来を切り開く一歩に～

9月6日、平山小学校で学童期子育て講座を開催しました。コミュニケーションアドバイザーでアナウンサーの椋内有希子さんが講師を担当。円滑なコミュニケーションのための言葉選びや表情、自分の考えを相手に伝えることの大切さについて親子で学びました。

保護者へのアンケートでは「自分のコミュニケーションを見つめ直すいい機会になりました。親子だけでなく、周囲と関わることの大切さを理解しまし



子どもたちに質問をする椋内さん

た」との感想があり、地域や学校などを含む、人と人とのつながりを持ち、交流していくことの必要性を学んでいました。

思春期子育て講座

思春期子育て講座は、中学生の保護者を対象としています。思春期特有の心と体の問題や親子のコミュニケーションなどについて学びます。



＜令和6年度開催テーマ＞

- 性・生・SAY 思春期の性
- 親子のコミュニケーション～未来を切り開く一歩に～
- 性と生について考えてみよう～自分のいのち、相手のいのち～

中学生の君たちへ 生の問題 命の問題 ～是非とも知ってほしいこと・知らなくてはいけないこと～



山形中学校で講演する秋元医師

11月22日に長内中学校、12月13日に山形中学校で思春期講座を開催しました。岩手県立中部病院第1産婦人科の秋元義弘科長を講師に招き、妊娠と出産の仕組みや10代の妊娠のリスク、性感染症、インター

ネットと性被害などについて講演。心や体に変化を迎える中学生と保護者に向けて、正しい知識や大人になり家庭を持つ心構えなどを伝えました。

保護者からは「専門家から詳しく話を聞けて、自分にも子どもにとっても大変勉強になりました」との感想があり、性に対する正しい知識を親子で共有していました。

性や生に関する教育は、デリケートな内容を含むため、家庭や学校で教えずらいと感じることもありますが、子どもの未来にとってとても大切なことです。医療の現場で日々命と向き合っている医師の話聞くことは、親子にとって多くの学びと成長の機会となりました。

■子育て支援事業

子育て世代包括支援センター ☎ 52-2169
子育て支援センター ☎ 52-3210

子育て世代包括支援センターや子育て支援センターでも、親子を対象としたさまざまな事業を行っています。日程や内容は広報くじ各月15日号やHPを確認ください。

●子育て世代包括支援センター（元気の泉）

1歳児相談や栄養指導、歯科刷掃、保健指導、身体測定を行っています。



赤ちゃんサロンに参加する親子

●久慈市子育て支援センター

未就学児とその保護者が無料で利用可能。季節の行事に参加したり、保育士やほかの保護者と悩みを共有、相談したりできます。

▶開館時間…8時30分～17時(土曜は12時まで)

▶休館…日曜、祝日

▶行事…

- ・赤ちゃんサロン(毎月第1水曜)…身長、体重測定や親子遊びの紹介、育児講座の開催
- ・絵本の読み聞かせ(偶数月第2水曜)…ボランティアや保育士が絵本を読み聞かせ
- ・うさこちゃんの部屋(奇数月第2水曜)…図書館との共同事業や絵本の紹介、読み聞かせ
- ・育児講座・リフレッシュ講座(不定期)…ヨガ教室、料理・おやつ作り、手芸教室など

きらめき！ジュニアヒーローズ

市内でいろいろなことに挑戦する子どもたちを紹介します

日本舞踊に挑戦中！ やまぐちしま 山口紫万さん(久慈小学校3年)



☆何歳から始めましたか

6歳からです。

☆日本舞踊を習って

週1回のお稽古の日はとても楽しみ。先生に褒められると嬉しいです。発表会で一人で舞台上に立つとき、ちょっと恥ずかしいときもありますが、頑張っています。小学生のお友達と一緒に日本舞踊をしたいです。

☆先生から

紫万さんは、踊りの見せ方をよく理解しています。指導した以上に、どうしてもっと素敵になるか工夫するところが素晴らしいと思います。自分の気持ちや考えを素直に表現していて、周りの大人たちも勉強になります。

モダンバレエに挑戦中！

なかむられいか 中村怜花さん(長内小学校6年)、 おおしたはるこ 大下晴子さん(大川目小学校4年)

☆何歳から始めましたか

(中村) 3歳からです。

(大下) 4歳からです。

☆バレエを習って

(中村) 音楽に合わせて踊ることがとても楽しいです。コンクールがコロナで延期の時期もありましたが、再開してうれしいです。中学生になってもバレエを続けて行きたいです。

(大下) 発表会で踊り終わったとき、達成感を感じます。前は出来なかったことが、出来るようになるのが嬉しいです。

☆先生から

怜花さんは体の感覚が鋭くなり、可動域が広がって、怪我しない体づくりができたと感じます。晴子さんは、表現したいものを考えて、体に表すことが出来るようになってきました。今後も期待しています。これからも頑張ってもらいたいと思います。



久慈市立図書館からのお知らせ

久慈市立図書館 ☎53-4605

12,000冊以上の絵本を揃えた、子育て世代にも優しい図書館です。2階スペースには、靴を脱いで寝そべりながら絵本を楽しむことができる「お話の部屋」や授乳室を備えています。館内は、蓋つきのドリンクを持ち込んで飲むことも可能です。

新刊は、広報くじ毎月1日号でお知らせします。本のリクエストや所蔵資料の貸し出しなど本に関するご相談は気軽にスタッフにお声がけください。

